

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 令和5年6月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト縮減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
6	(事業名・地区) (主)出雲三刀屋線 社会資本整備総合交付金事業 上塩冶工区(改良) (事業位置) 出雲市上塩冶町地内 (事業費) 3,007,000千円 (事業概要) 本事業は出雲市上塩冶町地内の1.14km区間を、2車線及び両側歩道のバイパス道路として整備するものである。 (事業主体の根拠) 道路法第15条 (再評価区分) ④再評価実施後5年を経過している未着手または継続中の事業 (担当部課名) 土木部道路建設課	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度:2009(H21)年度 用地着手年度:2009(H21)年度 工事着手年度:2012(H24)年度 完了予定年度:2027(R9)年度 経過年数:15年 (進捗状況と今後の見込み) 進捗率(全体):77% 〃(用地):99% 〃(工事):68% ※事業費ベース 用地取得等に時間を要したものの、現時点で用地は99%取得済みである。 工事は2012(H24)年度に着手し、68%まで進んでおり、2027(R9)年度には全線供用開始を目指している。	(事業導入の経緯・目的) 当工区は、出雲市と雲南市の中心部を連結し、山陰自動車道出雲IC及び中国横断自動車道尾道松江線三刀屋木次ICへのアクセス道路となる幹線道路の一部であり、地域の連携と交流、地域の活性化及び円滑で安全な通行の確保を目的として整備を図るものである。 (事業を取り巻く社会情勢) 本路線は、出雲市と雲南市を最短で結び、商工業、観光振興及び救急医療にきわめて重要な路線である。 特に当工区はバイパス道路とし多伎江南出雲線(医大前通り)と直結する区間であり、国道184号の混雑緩和を図るとともに、主要施設(医大、出雲市駅等)へのアクセス道路として、利便性の向上に寄与するルートであり、早期完成が期待されている。 (事業に対する地元情勢・計画の熟度) 用地買収も概ね完了し地元住民から事業の早期完成が望まれている。「出雲地域幹線道路改良整備促進期成同盟会」より早期の整備促進要望がある。	(費用対効果) B/C=1.62 (コスト縮減・代替案等) ①事業規模の妥当性 県条例により、地域区分と計画交通量から、道路規格3種2級、設計速度60km/h、道路幅員は2車線の車道(3.25×2)と路肩及び両側歩道(3.5×2)の全幅15.0mとした。 ②事業の妥当性 家屋等立地状況を考慮しルートを選定した。 ③コスト縮減への取り組み 掘削残土を近隣他工区へ流用することにより、処分費の軽減を図っている。 (その他の効果) 当工区の整備により、並行する市道大津上塩冶線のクランク部の解消が図れるため、特に通勤、通学時間帯の渋滞緩和及び、安全性の向上が見込まれる。	(生活環境・自然環境への影響) 環境配慮の取組状況 ・共通配慮事項 別添『取組シート』のとおり (事業を中止した場合の影響) 当工区はバイパス道路として出雲市中心部と直結する区間であり、円滑で安全な交通の確保、アクセスの利便性向上が図れない。 用地買収も概ね完了しており、事業を中止した場合、用地提供者など地元住民の理解が得られない。 高速道路を介した出雲圏の産業・経済・観光の発展などへの影響が懸念される。 救命救急センターのある島根大学付属病院と雲南市を結ぶ要所の区間であり、地域医療体制強化への影響が懸念される。	(方針案) 継続 (継続理由) 2012(H24)年度より一部工事着手したが、用地取得及び埋蔵文化財調査に時間を要したため、2016(H28)年度より本格的に工事を開始し、現在工事進捗は68%まで進んでいる。 本事業の必要性は変わっておらず、円滑で安全な交通の確保、アクセスの利便性向上等の整備効果発現のため、引き続き整備を図る必要がある。

※環境への配慮欄の『個別配慮事項』は、『環境への配慮』取組シートの個別の配慮事項を概略で記載する。

地域資源を活かした地域の活性化と安心安全な生活を支える基盤整備

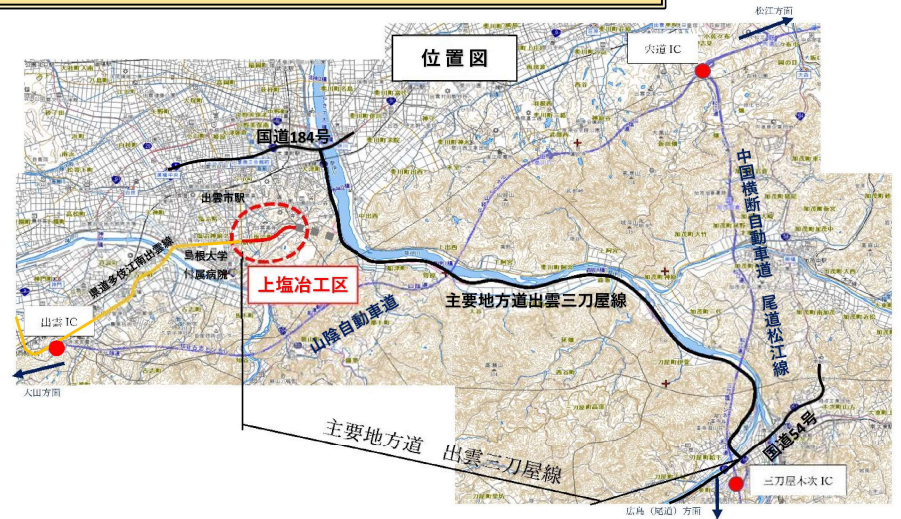
主要地方道 出雲三刀屋線 上塩冶工区

路線の概要

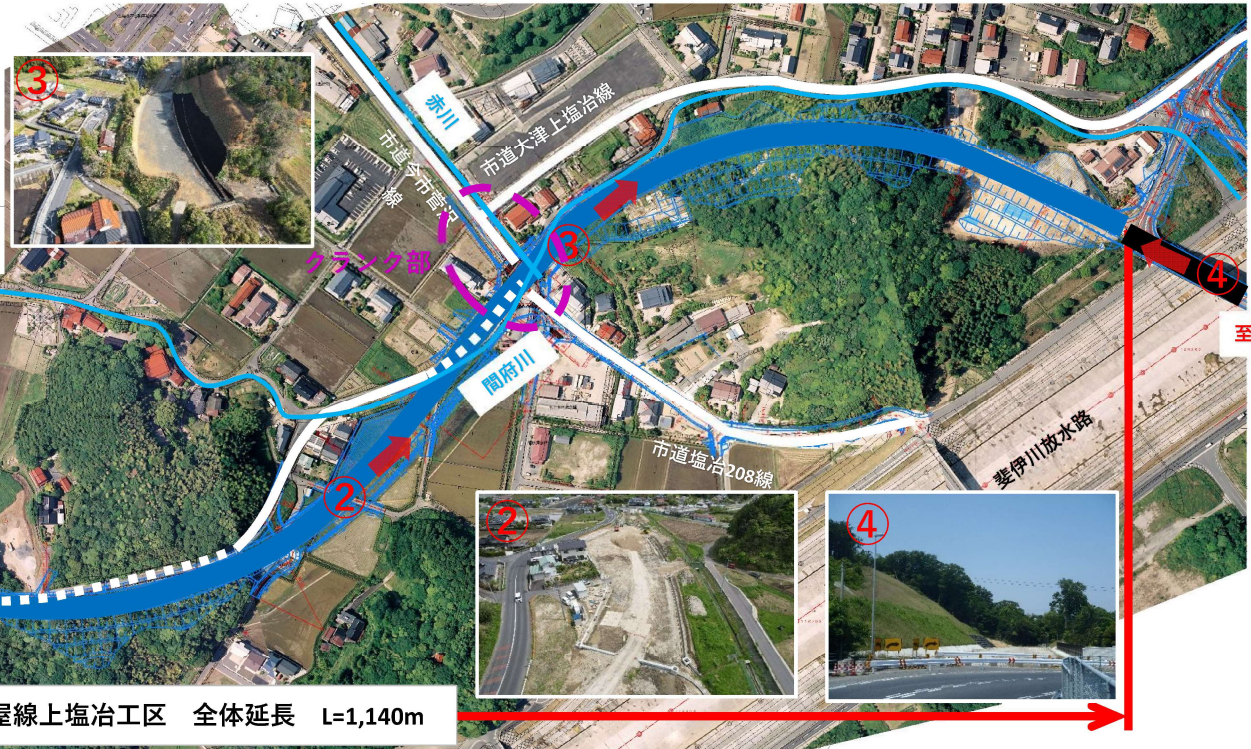
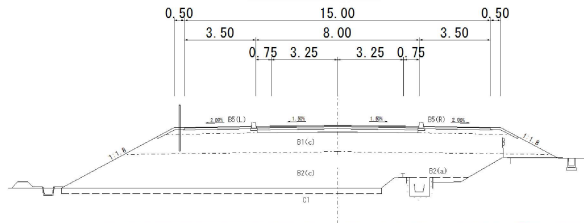
本路線は、出雲市大津町の国道184号交差点を起点とし、国道54号交差点（雲南市三刀屋町）に通じる延長15.7kmの幹線道路であり、出雲市と雲南市の中心部を最短で結び、商工業、観光振興及び救急医療に極めて重要な路線である。

事業の概要

1. 山陰自動車道出雲IC及び中国横断自動車道尾道松江線三刀屋木次ICへのアクセス道路の一部区間であり、バイパスとして整備します。
2. 出雲市中心部の主要施設（島根大学付属病院、出雲市駅等）へのアクセス機能が強化され、利便性の向上に寄与するルートです。
3. 並行する市道のクランク部解消及び歩道整備により、通勤、通学時間帯の渋滞緩和、安全性の向上を図ります。



標準断面図 (Standard Cross-section Diagram)



主要地方道出雲三刀屋線上塩冶工区 全体延長 L=1,140m